

2022年10月1日発行

10月21日（金）の名古屋講演会を成功させよう

最近の状況

新型コロナウイルス感染者の全数把握を簡略化し、詳しい報告の対象を重症化リスクが高い人に限定する運用が、9月26日から全国一律で始まりました。これは、新型コロナ対応にあたる医療機関などの負担を減らすための措置で、詳しい報告の対象を、65歳以上、入院が必要な人、妊娠中の女性など重症化のリスクが高い人に限定し、これ以外の方は、年代と総数の報告のみとしています。



ハナトラノオ

9月定例会を開催

2022年9月13日（火）に、日本水道会館会議室にて定例会を開催。今回は、今井茂樹さんが「気候変動対策技術（シリーズ2）再生可能エネルギー化とグリーン水素」を発表。参加者は11名(会場8、zoom3)。詳細は、水道公論11月号に掲載されます。

水道公論10月号の内容

「海外水ビジネスの要点」シリーズでは工藤克典氏（貿易金融投資アドバイザー）による「PPPの基本」を、コラム「海外ビジネスの眼」では「政治と経済の分離は可能か？」を掲載。

8月の定例会で安間匡明氏から発表があった「官民連携（PPP）の適切な活用に関する考察」は、公論交差点に掲載されます。

定例会・幹事会の開催について

- ZOOM幹事会は、10月7日（金）20時から。10月、11月定例会の開催内容の確認や今後の予定、PFI法周辺の法律の解説等を予定。
- 定例会 日本水道会館第5会議室(zoom併用)に於いて、10月11日（火）12時半から14時半 講師は鈴木康二さん テーマは、「ベトナム以外のアセアンのPPPなど法制度」。

講演会（名古屋）

- 当研究会は10月21日（金）午後名古屋で講演会「上下水道事業のPPPと公民連携のこれから」を名古屋駅近くにて開催します。名古屋で水道展が開催される機会を活用します。
- 日時：2022年10月21日（金）開場13:30、開会14:00 閉会16:30 (Zoom同時配信有)
- 会場：ウインクあいち（愛知県産業労働センター）名古屋市中村区名駅4丁目4-3 81107会議室、会場定員：40名（先着順）
- 協力 日本水道新聞社
- 講師：吉村和就（グローバルウオータージャパン代表）「最近の国内水道PPP事業（みやぎ方式の現状と課題に焦点をあてて）」、鈴木康二（元立命館アジア太平洋大学教授）「ベトナムを含むアジアのPPP法制度の現状と課題」、安間匡明（土木学会インフラファイナンス研究小委員会委員長）「官民連携（PPP）における有限責任性について」（敬称略）
- パネルディスカッション

水道公論コラム原稿を募集しています

字数は1500から1600字、「である調」、ペンネーム（実名は出さず）で原稿を募集しています。連絡は山村まで。